



愛川ふれあいの村 今月の風景

## 2023年7月 自然のたより

やっと梅雨明け宣言がありました。毎日暑い日が続いています。村ではニイニイゼミの鳴き声が響き渡り、夏の訪れを感じさせます。人間は熱中症アラートを気にしながら暑さと戦っていますが、生き物たちはそんなことお構いなしで、今を精一杯生きているようです。夏と言えば、子どもたちが大好きな「カブトムシ」や「クワガタムシ」もちろほらと見られるようになり、同じく樹液に集まる「オオムラサキ」にも出会うことができました。青く美しいその姿に、自然の美しさ、生き物の素晴らしさを再認識し、この環境を守りたいと強く思いました。(袖山)



エンジュの花



カブトムシ



リュウキュウサンショウクイ



激怒、コロギス



オオムラサキ



シロテクロマイコガ



マダラマルハヒロズコガ



アカアシオオアオカミキリ



コクワガタ



コカブトムシ



オオクモヘリカメムシ



ヤブカンゾウ



コマツナギ



ヌスビトハギ



タマザキクサフジ



## トピックス ★七夕★

「ささのはさらさら のきばにゆれる お星さま  
きらきら 金 銀 砂子」つい口ずさんでしまいます。  
子どものごころ、笹を河原に取りに行き、色とりどりの短冊に願いを書いたり、折り紙で輪をつないだり、折鶴、吹き流し等を飾り付けたものです。

七夕は、中国から伝わったとされ、梶（かじ）の葉に歌を書いて技巧の上達を願う「乞巧奠（きっこうでん）」と、星を祀る日本の年中行事が合わさったものと言われています。（諸説あります）

七夕の星物語、夏の大三角形を作る星のうち、琴座のベガ「織姫」わし座のアルタイル「彦星」織姫と彦星の物語は有名です。七夕に雨が降らないようにテルテル坊主を作って夜空を見上げたものです。

7月7日は、旧暦の8月中旬に当たることが多くお盆行事として行われました。お墓を掃除し、ご先祖様にお供え物をするとき、笹に抗菌作用があるため、防腐用として使用されたといえます。

そして笹に飾りつけをするのは、まっすぐに伸び、生命力の力強さがあり、昔から神聖な力があるとされ、笹が風に揺れてサラサラと葉の音で悪いものを祓ってくれる厄除けの力があると信じられていたようです。笹のまっすぐに伸びる力強さに子どもの健やかな成長を願って笹を用いられるようになったと考えられます。

現在はなかなか笹が手に入りませんが、短冊に願いをかいいたり、折り紙で飾りを作ったりと楽しんでみてはいかがでしょうか。（菅原）



## 生き物 ★話題の虫除けグッズ★

じめじめした蒸し暑い日が続く、こんな日に山を歩くと、気になるのは蚊やブヨなどの虫です。

いつも虫除けスプレーを手や顔に塗りたいって山に入るが、最近は面白いグッズがあります。それは、虫除けのための実物大のオニヤンマのフィギュアです。オニヤンマはとても獰猛で、空中を飛んでいる虫を捕まえて食べます。言わば蚊やブヨ、アブなどの天敵です。彼ら虫たちはオニヤンマを「危ない奴」と認識しているようです。そのフィギュアを帽子や服につけるだけで、虫たちが寄ってこないらしい。果たして効果はいかほどでしょうか？

写真はオニヤンマのイラストに戦いを挑む、可愛いコカマキリです。（高梨）



## 旬 ★梅★

私は幼い頃から梅干しが大好きです。夏になると私の家では梅干しを作ります。ベランダに干すのですが、風に乗って酸っぱい匂いが部屋の中に入り、生唾を出しながら食べられるのはまだかと毎年待ち遠しく思っています。

梅には多くの栄養素が含まれます。血圧を下げるカリウム、貧血予防になる鉄分、しみやしわ・生活習慣病などを予防する抗酸化力、疲労回復効果のあるクエン酸などが含まれています。いいことばかりですね。梅はリンゴに比べ、カリウムは2倍、鉄分は6倍、ビタミンEは33倍もの量があります。梅干しは好き嫌いが別れますが、美味しく暑い夏を乗り切るために、今年の夏は食べてみてはいかがでしょうか。（石川）



来月の見どころ  
**シガバチの作戦**  
シガバチは、全体的に黒っぽく腹と胸のつけ根の辺りが極端に細く赤い模様が目立つ。花から花へと飛びながら花の蜜を吸っている様子は人に害を与えない。シガバチの繁殖の仕方は驚いたり感心したりすることが多い。成虫を捕獲して麻酔し予め掘っておいた巣穴へ運び込むクロアバチはよく見かけますが、今回のシガバチは「幼虫」を捕獲し麻酔をかけ巣穴に運び込みます。食堂前の日当たりの良い道を避けて木陰の道を選んで運び始めました。前に見たクモバチは暑い道路を避けて木に登りそこから目的の巣穴へと飛んでいきました。斜辺は長いが翼を使い、まるで三平方の定理をつまたく活用しているようでとても感心しました。今回のシガバチは、幼虫が重かったので長い脚で幼虫を地面から浮かせ芝生の影を選びながらひたすら運んで行った。途中で休みたかっただろうにその努力に拍手を贈りたい。（吉田）